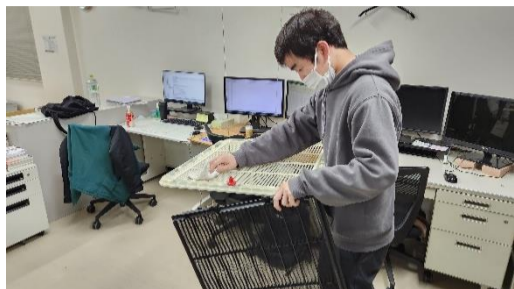


発行者：伊藤 野添  
田路 辻尾  
寺川 徳永  
吉岡

# 年末大掃除！

## 研究室をピカピカにして心機一転



エアコンの掃除

12月26日に都市計での中間発表があり、その翌日の12月27日に研究室の大掃除を行った。

普段から定期的に研究室の掃除は行っているが、それはほろほろと集めるくらいのもので、ここまで大がかりな掃除はやはり年に一度くらいのもので、う。また、みんな揃って掃除をすることもないので、終始ワイワイと賑やかな雰囲気、各持ち場の掃除をしていた。

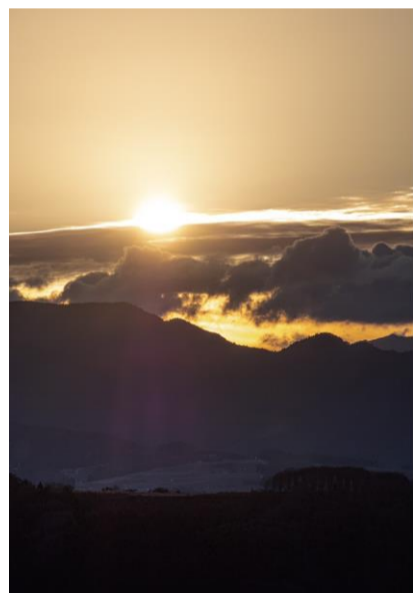
左の写真にあるように、エアコンのフィルターも外して、見えない部分もくまなく綺麗にしていった。他には、いつものように、ほうきでゴミをとるのはもちろん、激落ちくんを使って床の汚れ落としやシンクの磨き上げなどの細かな汚れの掃除や、冷蔵庫の整理など、気になるところはすべて掃除できたのではないかと、こうして、毎日使う場所を綺麗にする気持ちも晴れやかなる。

良いスタートを切るために、年末の大掃除はやはり大切なだろう。さらに、自分の手で一度綺麗にする、汚さないように気を付けようという思いが強くなった。研究室を維持できるかもしれない。



掃除の様子

2023年が始まり、早3週間がたった。今年初日は、初詣はどこか行かれましたか。ここから来年度以降の初日の出をおすすめスポットを紹介する。場所は、愛媛県喜多郡内子町立山に位置している「天忠の宿ひろこ」である。宿泊定員5名の宿でもあるため、友達と行くのもよし、家族と行くのもよし、観光スポットとしてもある。左の写真は、2022年の初日の出の写真である。標高も高く、手作りのテラスから見える雲海と朝日、山並みの景色は最高だ。気温も低い地域であり、松山市から遠出になるが、ぜひ訪れてもらいたいスポットである。



「天忠の宿ひろこ」からの景色

研究室では、お正月ムードはすっかり抜け、卒業研究に取り組んでいる。今年2月14日、卒業論文発表は、2月21日である。ラストスパイトの時期でもあるため、焦りもある中、切磋琢磨し、実験に取り組む学生もいれば、分析に勤しんでいる学生、卒業論文の作成を進めている学生もおり、一段と集中した研究室生活となっている。長い年間(院生は6年間)の大学生活も残り3か月を切り、卒業旅行などの楽しみでモチベーションを保持し、残り少ない研究室での生活・研究を充実させたいと思う。

### 謹賀新年！ 研究も追い込みへ！

### 社会の断面

#### 成人年齢引き下げ後初の「成人式」

2022年4月、民法改正により、成人年齢が20歳から18歳に引き下げとなった。そのため、今年からは引き下げ後初の成人式として注目を集めていた。式典の対象年齢については、自治体に委ねられており、従来通り20歳を対象に行うか、18歳の年齢に早めるかの対応はさまざまであった。多くの自治体は「20歳のつどい」などといった名称に変更して、従来通り20歳を対象に式典を開催した。一方で、成人として自覚させるため、18歳を対象にした自治体も見られたが、反対意見も多く挙がったようだ。成人式とは本来、成人の権利と義務を伝え、祝福する場であるが、毎年成人式後は、新成人がニユースを賑わせている。これを機に、式典の本来の意義を踏まえ、成人式の在り方について見直すべきではないだろうか。

## 都市計 OB 情報

今回は 2021 年度に卒業された先輩に

インタビュー



**名前** 中藤 匡人  
**卒業年度** 令和4年度  
**勤務先** (株)荒谷建設コンサルタンツ  
**仕事内容** 道路設計が主な仕事です。今は、橋梁・河川の業務にもあたっています。

**研究室生活での思い出** 研究室の同期でご飯を食べに行っていたのがいい思い出です。大学の近くはおいしいお店がたくさんあったので、全然飽きなかったです。学生時代にやってよかったこと後悔していること、**良かったこと** 塾講師やイベントスタッフなど、色々なバイトを経験できたこと。**後悔していること** 飲食店バイトだけ挑戦できなかったこと。

**先生方へのメッセージ** 先生方、ご無沙汰しております。昨年度は、大変お世話になりました。愛媛に立ち寄った際にはお伺いしますので、よろしくお願いたします。

# 追い込みの時期到来 卒論の書き方を学ぶ

年も明け、卒業論文・修士論文を執筆する時期である。さらに、文章を書く機会が社会人になつてからも多々あるため、今のうちにスキルを磨くことが大事である。そこで、木下是雄さんの「理科系の作文技術」から論文を執筆する際のテクニクを学ぶ。

この書物では、物理学で、独自の発想で知られるロゲルギスト同人の著者が、理科系の研究者や学生のために、論文や説明書の書き方等のコツを具体的にコーチする。前提として、他人に読んでもらうことを目的とするものを対象として取り上げている。盛りこむべき内容をどう取捨し、それをどう組み立てるかが勝負だ、と著者は説く。ここでは、現在我々が取り組んでいる卒業論文・修士論文の執筆の際に役立つような内容を4つ簡単に紹介する。

1つ目は、パラグラフについてだ。各パラグラフに必ずトピック・センテンスを書くように心がける。文章を書く際、ベタに何百文字も連続しているのを見ると分かります。読みづらく、気が重くなる。そこで、いくつかのパラグラフに分けて書くことが必要となってくるが、ただパラグラフに分けるのではなく、ひとつのパラグラフに自分の主張した

2つ目は、事実と意見についてだ。論文や説明書では、読者に伝えるべき内容を事実(状況を含む)と意見(判断や予測を含む)に限り、心情的要素を含まない。主題について述べるべき事実と意見を十分に精選し、峻別しながら、順序良く、明快・簡潔に記述する必要があります。何が事実でそこから考えられる意見は何かを意識しながら執筆すると良い。

3つ目は、文章の組み立てに関して、論理構成を意識して記述する。例えば、序論を書く際には、本論の主題となる問題は何で、その問題をなぜ取り上げ、なぜ重要であり、どのような手段で問題を攻めようとするのかといったように、最も簡明な道に沿って書くことが重要である。これを容易にするため、構成や各パラグラフに書く大まかな内容をメモ書きにしておくスケッチ・ノート法

4つ目は、分かりやすく簡潔な表現に関して、文は短く、明確にして書く。各文で必要な要素を洗い出さ、「約」や「ような」といったあいまいな表現や、無用の重複と呼ばれる「」を

5つ目は、分りやすく簡潔な表現に関して、文は短く、明確にして書く。各文で必要な要素を洗い出さ、「約」や「ような」といったあいまいな表現や、無用の重複と呼ばれる「」を



木下是雄：「理科系の作文技術」  
中公新書，2010

## チャリ旅行のススめ

皆さんは最近旅行をしてみたところの写真を撮っているだろうか？今日、りたくても、駐車できない。多少は人の往来が活ら行けないといったことが発になってきたように感じることが多発する。そんな

しかし、大人数で時に自転車ならば自由の旅行となると、まだまだ休憩しつつ写真を撮るの他人の目が気になることもできる。九州への旅行ともあるだろう。そこで、九州への旅行をおすすめしたいのが、自でもこの特性を大いに転車での旅行である。自感することができた。北九州の魅力、松山、北九州市内から少し離れる。第1の魅力は「肌海軍軍艦が防波堤として霧囲気を感じられる」という点である。自転車はバイクなどと比べて軽装で普段着に近いような服装で旅行することができ、そのための、自転車に吹いている風や地域感を感じることができ、例えば九州への旅では、瀬戸内から壇之浦方面へ抜ける場合に途中で急に瀬戸内感がなくなり、大洋へとつながる雰囲気が発生するといった具合である。この霧囲気を感じられるのは、低速で周りを見渡しながら走ることができる自転車ならではのものだと感じる。低速で小回りが効くという点は、第2の魅力にもつながる。その魅力とは「いつでも好きな時に止まることができる」と点である。旅先でちょっとした良い景色を見つけたら、列車の旅では、ちよつと



軍艦防波堤(北九州市)

## OBに感謝

9月や12月の中間発表前に、多くのOBの方から、差し入れをいただいた。その数とともに現役生の笑顔が増えたことと感謝をOBの方々へ述べるべきだろう。お名前は控えさせていただきますが、多くのOBの方から、差し入れをいただいた。本当にありがとうございました。

Y様から、駄菓子や差し入れがいただいた際には、遊び心満載のバラエティに富んだ贈り物に研究室全体が笑顔に包まれた。私が嬉しかったのはH様に送っていた松屋のレトルト商品とごはんのセットだ。(写真・右) コンビニに行く時間も惜しい時に美味い牛丼が食べられるのは非常にありがたかった。

これらの心意気に答えるためにも、B4・18人、M2・3人は卒論に全力で取り組みます。今後、差し入れを送っていただく際には、他学部の間違つて届くことを避けるために、住所を下記宛に記して、送り主のお名前を表記していただきたいと思います。ご支援いただきありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。



差し入れに喜ぶ現役生

研究室住所  
〒790-8577  
愛媛県松山市文京町3番 (工学部2号館3F)  
愛媛大学 工学部 工学科 交通・都市環境計画研究室  
または  
都市・地域デザイン研究室